

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙・「みらい」
NO. 3699
16年10月25日(火)
・Fax 095-828-1953

東大を出て、日本一の電通にはいり、そして..

おはようございます。

明日十月二十六日は、島原の乱が起きた日(一六三七年)です。今から三九九年前のこと。苛政に苦しみ、江戸幕府に反乱し、殺された一揆軍の三万七千人の思いに合掌。

解雇無効を判決し、女性社員が勝利しています。これに対し、会社は最後まで抵抗し、逆に彼女が住んでいた寮では、組織ぐるみの嫌がらせが行われたとされています。過労死に対する日本の会社、労組、社会の猛省が求められます。

東大を出てあこがれの日本の一広告会社の電通に入り、わずか二年で、月に百時間を超える長時間残業の結果、過労死自殺をした女性に、東京労働局は会社に安全配慮義務違反を認定し、彼女の労働災害を認めました。電通の過労死自殺は過去一九九一年の事案でも、最高裁が労災認定を行った例があります。



この過労自殺事件で、武蔵野大学の長谷川教授が、月に百時間超の残業で過労死するとは情けない」と批判し、結局、この教授は全国から批判が集中し、ネットが炎上し、謝罪に追い込まれました。この教授は元東芝の社員だとい

います。東芝続きでいえば、東芝がうつ病で休職していた元女性社員を解雇しましたが、二〇一四年三月十四日、最高裁は

過労死とは「karoshi」としてイギリスの英語辞書にも載っている国際語です。(death from work overload)。「日本での過重な仕事による死」と書かれています。

日本では過労死等防止対策推進法が議員立法により平成二六年成立・施行されます。過労死等の定義は、業務における過重な負荷による脳血管疾患・心臓疾患を原因とする死亡、死亡には至らないが、これらの脳血管疾患・心臓疾患、精神障害とされます。と厚労省の白書は書きます。

過労死の現状では、メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業所は増えてきているが、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレ

スを感じる労働者の割合は5割を超えている。、脳心臓疾患に係る労災の支給決定件数は、平成十四年度に三〇〇件を超えて以降、二百件台後半、二百件台で推移、精神障害に係る労災の支給決定件数は、平成二四年度以降四百件台で推移しています。



して同法三六条で会社と過半数を超える労組で残業協定を結べば、これを超えて仕事を命じられるとあります。しかしこれがしり抜けで、青空大上の月に百時間などという長時間労働がまかり通る背景なのです。労組の責任が改めて問われます。ちなみに電通でも三六協定はあり、月七十時間の残業の協定を結んでいたといっています。これも同法の特別条項(月に八〇時間)という例外規定があるからですが、月に二十日を働くとして、一日に四時間の残業で異常です。

こうした働きすぎ批判を受けて、安倍内閣は「働き方改革」を提案し、九月から国会で議論が始まっています。彼らは、「長時間労働は労基法三六条による残業協定に原因がある」として、この見直しを主張しています。

労基法三六条・労働時間は一日八時間、一週間に四〇時間と定めていますが、例外として働き方改革とはこの三六協定条項を撤廃し、労働時間の上限を決めるといやり方ですが、たとえば一日の上限を一〇時間と決めれば、残業代ゼロ法と重なり、毎日二時間のタダ働きともなりかねない現実があります。労組があつてもこの程度の実態であれば、三六条がなくなればどうなるか、一目瞭然です。法の規制緩和ではなく、逆に法の規制を厳しくすることしか真の解決はありません。



働き方改革とこの三六協定条項を撤廃し、労働時間の上限を決めるといやり方ですが、たとえば一日の上限を一〇時間と決めれば、残業代ゼロ法と重なり、毎日二時間のタダ働きともなりかねない現実があります。労組があつてもこの程度の実態であれば、三六条がなくなればどうなるか、一目瞭然です。法の規制緩和ではなく、逆に法の規制を厳しくすることしか真の解決はありません。

そのためにはまず日本は、一日八時間労働のILO国際条約第一条の最低原則を早期に批准し、残業のない社会をつくるしかありません。一日八時間を超える労働を命じたら厳罰という決まりです。会社は「やっつけられない」というのでしょつから、長時間労働と過労死は会社の利益と都合からなのです。

電通には「鬼十則」の社訓があるそうです。そこには「難しい仕事を狙え、そしてこれを成し遂げるところに進歩がある。取り組んだら放すな、殺されても放すな、目的完遂までは……」と書かれています。

仕事に関する不安、ストレス、厚労省調査 (3つ以内の複数回答)	%
仕事の質と量	65.3
対人関係(セクハラ、パワハラ)	33.7
昇進、昇格、配転	25.0
仕事の失敗、責任の発生	36.6
事故や災害の体験	2.8
その他	18.5

仕事で殺されることが当たり前の会社が、人気ナンバーワンの会社とは驚きですが、自殺された女性の遺族の言葉です。「命より大切な仕事はありません」。これが人として当たり前の考えです。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労働法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。